

1月のあいさつ

みなさん、明けましておめでとうございます。

冬休みはどうでしたか。休みに入る前に、何かチャレンジする目標を立てて、自分を励ます言葉「できるやんか」を口にしてみようと話しました。まだの人もまだまだ新年は始まったばかりです。今からでも昨年の自分より成長した自分になるために、ぜひやってみよう。

さて、今日から授業再開です。あと数か月でいよいよ今年度の締めくくりです。最後まで精いっぱい取り組んでください。

皆さん、「耳視眼聴」は何と読むと思いますか？「じしがんちょう」と読みます。元々は古い中国のことわざらしいのですが、文字通り「耳で見て」「目で聴く」という意味です。まず「眼聴」から紹介しましょう。「目で聴くことはできないやん」と思いますが、これは人の話を聞くときの態度姿勢についてあらわしたもので、『しっかりと相手の方を見て、集中して話を聴く』態度姿勢をあらわしているのです。

会議や集会などでは、よく目をして静かに話を聞いている人を見かけたりします。でもその人は実はほとんど話を聞いておらず、別のことを考えていたり、場合によっては居眠りしていることが多いのです。ちゃんと起きて話を聞いているという人も、つい携帯やスマホでメールチェックしたりしています。ところが、話す相手の方をしっかりと見て、それこそ相手の目を見て話を聴こうとすると、自然に集中力が高まり、しっかりと話の内容も頭の中に残ります。

「耳視」も『話の内容を、しっかり想像イメージしながら聞くこと』の態度姿勢をあらわしています。年末の芸能鑑賞で落語を聞きましたが、まさに「耳視」の態度が必要でしたね。この「耳視眼聴」の態度姿勢は、仕事やアルバイトではとても大切なことです。もちろん、家庭や友だちとの関係でも大切です。聞いてほしいことがあって話かけたら、相手はスマホさわりながら返事してきたなんて、がっかりしますね。

今年はこの「耳視眼聴」も意識しながら生活してみましょう。そして少しでも意識してできたら「できるやんか」と言葉にしてみてください。

自分の目標・進路に向かって、一つ一つあきらめずに頑張っていきましょう。